

教育分野でも男女格差

日本の中学校の教員に占める女性の割合は約44%です。しかし18年のOECDの国際教員指導

日本は教育分野での男女格差が世界でも際立っていることが、経済協力開発機構(OECD)の調査で明らかになります。OECDの2021年版「国表でみる教育」から作成)

日本は教育分野での男女格差が世界でも際立つ。国立大学協会が今年発表した調査では、助手を除いた国立大学の女性教員比率は17・7%。な

くとも大きく遅れています。1年版「国表でみる教育」によれば、19年の高等

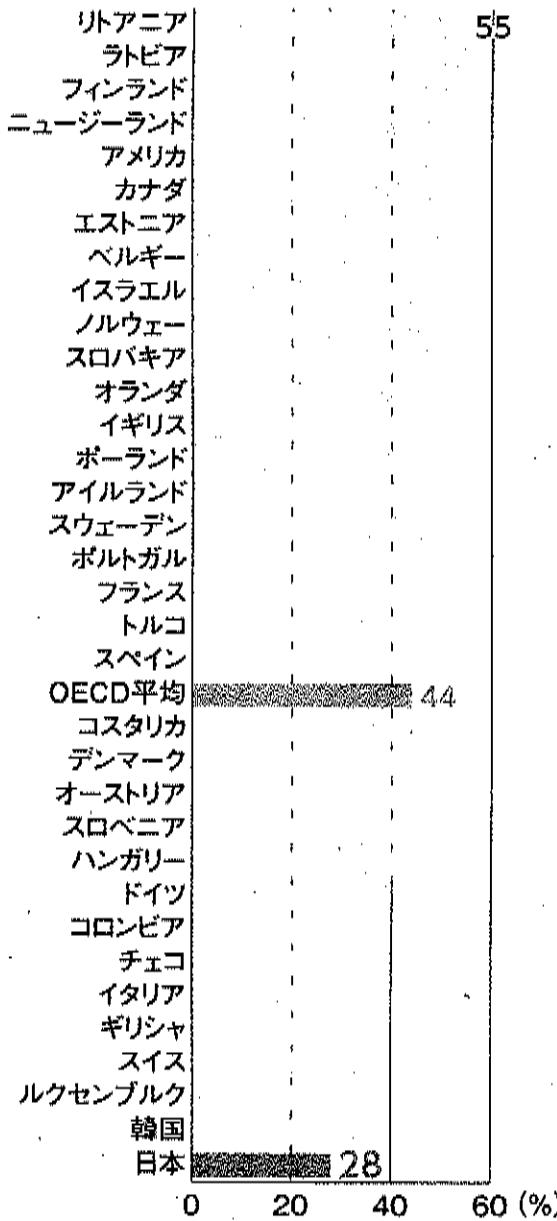
教育機関の教員に占める女性の割合はOECD平均

の44%に対し、日本はわずか28%。比較可能な34カ国で最下位でした。

日本は女性教員比率が最も高いリニア、ラトビア、フィンランド、ニュージーランド、アメリカ、カナダ、エストニア、ベルギー、イスラエル、ノルウェー、スロバキア、オランダ、イギリス、ポーランド、アイルランド、スウェーデン、ポルトガル、フランス、トルコ、スペイン、OECD平均、コスタリカ、デンマーク、オーストリア、スロベニア、ハンガリー、ドイツ、コロンビア、チェコ、イタリア、ギリシャ、イスラエル、ルクセンブルク、韓国、日本

OECD統計 高等教育の女性比率 日本わずか28%

高等教育機関の女性教員比率
(OECD2021年版「国表でみる教育」から作成)



ても大きくなっています。国立大学協会が今年発表した調査では、助手を除いた国立大学の女性教員比率は17・7%。なかでも理学や工学は10%未満でした。教授に占める比率は10・8%、学長・理事・副学長は9・4%でした。

理工系の女性教員比率もさることながら、理学や工学の女性教員比率は、女性より男性の方がやや多い傾向にあります。しかし日本では、12年時点

で学校教育や学校以外での引き上げには同分野への女性入学者の増加も重

要です。しかし、OECDの調査によれば、日本は、男性の48%に対し、女性は35%になりました。

女性教員が管理職を志向した。参加を阻む要因について女性の30%、男性の5%が家事や育児への責任を挙げていました。

OECD統計 高等教育の女性比率 日本わずか28%

日本の中学校の教員に占める女性の割合は約44%です。しかし18年のOECDの国際教員指導

環境調査(TALIS)によれば、中学校の校長に女性が占める割合はわずか7%。OECD平均の47・3%に遠く及ばず、日本でも比較可能な国の中で最下位です。

女性校長の比率は、女性の教員比率が6割を超える小学校でも23・1%です。

国立女性教育会館が18年に発表した調査では、女性教員が管理職を志向しない理由として、家庭の育児や介護との両立が難しくなることを挙げる回答が目立っています。